

2008年3月期中間決算説明資料

2007年11月
小野建株式会社

CONTENTS

- I. 2008年3月期中間決算総括
- II. TOPICS・下期展望
- III. 連結損益計算書・連結セグメント別販売計画
- IV. 連結貸借対照表・販管費・設備投資・減価償却

将来の見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容につきましては、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。

08年3月期中間期決算総括①前期および計画との差異

- 前年同期比増収増益、販売数量増加ながら、仕入価格の上昇により利益率は低下し、利益面では計画未達

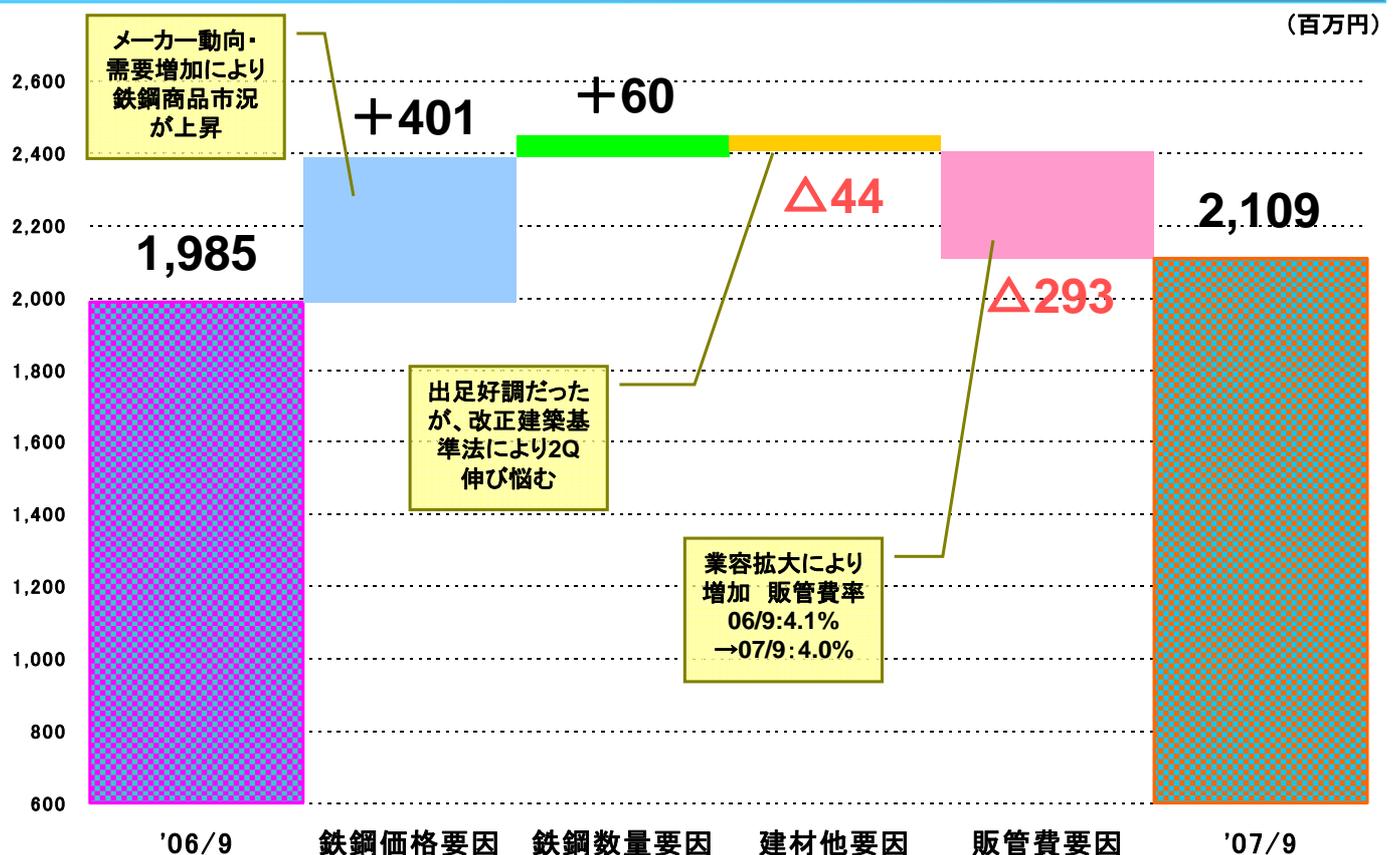
	06/9実績	07/9計画	07/9実績	計画差異	08/3通期計画
売上高	58,996	65,907	67,616	+1,709 (+2.6%)	136,789
売上総利益	4,387	4,826	4,805	△21 (△0.4%)	9,906
営業利益	1,985	2,226	2,109	△117 (△5.3%)	4,749
経常利益	2,071	2,325	2,181	△144 (△6.2%)	4,882
当期純利益	913	1,325	1,271	△54 (△4.1%)	2,783

(百万円)

※計画数値は2007年5月10日決算発表時のもの



08年3月期中間期決算総括②営業利益/前年同期比変化要因



福岡支店・仙台営業所ヤードの活用

「2007年7月 福岡支店拡大移転」

● H形鋼の品種拡大

- 長尺サイズ(20m超)を在庫、切断・穴明・開先加工に対応し、ユーザーへの加工販売を拡大、鉄骨工事受注強化
- SN材などの高規格品や大型サイズ(400×400～)も在庫強化

● 異形丸鋼の品種拡大

- SD295AからSD345、SD390へ高規格化・太径化(D29、D32、D35)



「2007年9月 仙台営業所ヤード新設」

● 条鋼類・鋼板類を中心に在庫を拡充

- 浦安→仙台→八戸の縦貫ラインでの連携により、東北エリアをカバー



2007年6月 改正建築基準法の影響

【問題】

- 建築着工が遅れることにより、建築工事発注が停滞
- 発注後の変更可能範囲が不透明(軽微な変更の程度)

【現状】

- 受注残物件の着工予定にずれ込みが発生
- 中小型物件の減少によるMグレード以下のファブの仕事量減少、基礎杭の出荷が減少するなど、各業種の信用不安リスクが増大

【今後】

- 4Q以降から順次発注量が回復・増加の見込み
- 工事量が集中した際の材料供給や、施工の手配に課題

2008年3月期下期の展望

- **建築確認申請の問題はあるものの、潜在需要は旺盛**
 - 大型物件から徐々に着工開始の動きもあり、工場設備投資や再開発案件を中心に長期的な民間需要の拡大基調は変わらず
- **鉄鋼商品の市況は強含み横ばいを予想**
 - スクラップ価格は踊場状態にあるものの、メーカーサイド減産対応により鉄鋼商品市況は、全品種ともにほぼ横ばいで推移
 - 高炉メーカーの価格動向(店売り・ひも付とも)を注視
- **与信リスクの拡大**
 - 着工遅延の影響から鉄鋼商品市況高騰局面のなかで、ゼネコンを含め各業種ともキャッシュフロー悪化の懸念
 - 回収条件の変更など与信管理の徹底

品種別販売状況

- **鉄鋼・建材商品販売事業**
 - **鋼板類**
 - 厚板分野は超タイトな状況は変わらず、産建機・造船向けを中心に引合いは旺盛、また、商品規格の確認を徹底
 - **条鋼類**
 - H形鋼の出荷は伸び悩んでいるが、全般的には順調
 - **丸鋼類**
 - 建築向け販売が中心のため、既契約分の出荷は多いものの、今後の新規受注は減少傾向
- **工事請負事業**
 - **建築工事**
 - 鉄骨工事の大型物件はあるものの、中小型物件の引合い(スポットの案件)は減少。ただし、潜在的な案件は多く、今後の認可動向に左右されやすい

連結損益計算書

(百万円)

	06/9実績	07/3実績	07/9計画	07/9実績	08/3計画
売上高	58,986	132,658	65,907	67,616	136,789
売上原価	54,598	123,113	61,081	62,811	126,883
売上総利益	4,387	9,544	4,826	4,804	9,906
販売費及び一般管理費	2,402	4,622	2,600	2,695	5,156
営業利益	1,985	4,923	2,226	2,109	4,749
営業外収益	95	216	121	136	176
営業外費用	9	26	23	64	43
経常利益	2,071	5,112	2,325	2,181	4,882
特別利益	556	341	—	0	—
特別損失	1,056	1,291	—	5	—
税引前当期純利益	1,571	4,162	2,325	2,176	4,882
法人税・住民税及び事業税	658	1,745	1,000	904	2,099
当期純利益	913	2,416	1,325	1,271	2,783



9

連結セグメント別販売計画

(百万円・千トン)

		06/9実績	07/3実績	07/9計画	07/9実績	08/3計画
鉄鋼・建材 商品販売事業	鋼板類	18,091	37,437	19,021	20,104	39,555
	(販売数量)	266	525	270	254	553
	売上総利益	1,488	2,960	1,544	1,490	3,117
	条鋼類	17,174	36,773	18,907	19,824	38,263
	(販売数量)	210	445	222	225	454
	売上総利益	1,510	3,171	1,687	1,676	3,443
	丸鋼類	10,442	22,273	11,737	13,126	23,698
	(販売数量)	172	357	183	180	374
	売上総利益	480	1,170	579	773	1,169
工事請負事業	建設機材商品	4,287	10,921	4,823	4,103	10,453
	売上総利益	208	459	231	181	501
不動産 賃貸等事業	建設機材工事	8,621	24,531	11,053	10,104	24,102
	売上総利益	483	1,315	548	482	1,206
不動産 賃貸等事業	その他事業収入	361	721	363	353	718
	売上総利益	216	467	235	200	471
合計	売上高	58,986	132,658	65,907	67,616	136,789
	(販売数量)	648	1,327	676	660	1,381
	売上総利益	4,387	9,544	4,826	4,804	9,906



10

連結貸借対照表(解説)

- たな卸資産
 - 鉄鋼商品市況の上昇と在庫能力の拡大によるもの
- 短期借入金
 - 設備投資が一巡したため減少、運転資金も平常に推移
 - 06/9、07/3、07/9ともに期末日が銀行休日のため、実質的にはそれぞれ30億円程度プラス
- 社債
 - 転換社債型新株予約権付社債発行により、約50億円資金調達
 - スtockヤード拡大のための設備投資資金として活用

連結貸借対照表

※各詳細項目は主要項目のみを記載しております(百万円)

	06/9実績	07/3実績	07/9実績
流動資産	55,523	64,743	65,796
現金及び預金	2,266	2,164	1,880
受取手形及び売掛金	43,467	52,923	49,588
たな卸資産	7,633	8,653	11,657
固定資産	19,868	20,552	22,580
有形固定資産	17,181	17,725	19,802
投資その他の資産	2,595	2,747	2,707
資産合計	75,391	85,296	88,377
流動負債	36,192	44,986	42,288
支払手形及び買掛金	29,716	37,729	35,942
短期借入金	2,300	4,000	1,800
固定負債	1,076	1,082	6,103
社債	—	—	5,024
負債合計	37,268	46,069	48,391
株主資本	37,697	38,786	39,670
資本金	3,358	3,358	3,358
純資産合計	38,123	39,226	39,986
負債・純資産合計	75,391	85,296	88,377

販売管理費・設備投資・減価償却費(解説)

● 販売費および一般管理費

- － 貸倒実績率の見直しによるもの
 - 07/3→貸倒実績率が大幅に低下(2.0%から0.37%)したことにより、戻入を特別利益として計上
 - 07/9→売掛債権は減少したものの、貸倒実績率の上昇(0.44%)と、個別債権の発生によるもの
- － 営業人員の増加により人件費が増加
- － 設備投資による減価償却費・消耗品費の増加

● 設備投資

- － 福岡支店拡大移転、仙台営業所ヤード新設により大型投資は一巡
- － 新規エリアへの展開や、既存エリアでのヤード増強など、今後も積極的な事業展開を計画

販売管理費・設備投資・減価償却費

	06/9実績	07/3実績	07/9実績	08/3計画
	(百万円)			
販売費及び一般管理費	2,402	4,622	2,695	5,156
運賃	685	1,445	718	1,549
貸倒引当金繰入額	—	1	84	300
貸倒損失	—	—	36	—
人件費	998	1,836	1,035	1,910
租税公課	127	192	129	162
設備投資	3,926	4,767	2,274	1,800
小倉支店賃貸物件	30	29	—	—
福岡支店土地	3,109	3,109	—	—
福岡支店建築	—	507	1,278	1,015
仙台営業所土地	690	863	—	—
仙台営業所建築	—	241	630	493
減価償却費	182	327	215	370